

解答プリント「中学社会・歴史的分野」

■確認プリント

8 幕府政治の動きと近代欧米諸国

【評価の観点】㊦：思考・判断・表現 ㊦：技能 ㊦：知識・理解

解答例	解説
<p>㊦ (1) a 享保の改革</p> <p>㊦ b 寛政の改革</p> <p>㊦ c 天保の改革</p> <p>㊦ (2) 老中</p> <p>㊦ (3) 打ちこわし</p>	<p>㊦ (1) a 享保の改革が行われた期間は、1716～45年にかけてである。</p> <p>b 寛政の改革が行われた期間は、1787～93年にかけてである。</p> <p>c 天保の改革が行われた期間は、1841～43年にかけてである。</p> <p>(2) 江戸幕府の役職の中で、臨時に置かれる大老を除いて最も上位に位置するのが老中である。老中は2万5000石以上の譜代大名から4～5名任命された。松平定信は徳川吉宗の孫にあたるが、譜代大名の白河藩主であった。</p> <p>(3) 江戸での最初の大規模な打ちこわしは、享保の改革中の1733年に発生している。</p>
<p>㊦ (1) A イギリス</p> <p>㊦ B フランス</p> <p>㊦ C アメリカ</p> <p>㊦ (2) 名誉革命</p> <p>㊦ (3) 産業革命</p>	<p>㊦ (1) A ピューリタン革命は、クロムウェルの指導で絶対王政が倒され、共和制となった。</p> <p>B ルイ14世の時代に絶対王政が確立し、ベルサイユ宮殿を中心とした華やかな宮廷文化が生まれた。</p> <p>C アメリカはイギリスからの独立を求めて戦争を始めた。翌1776年に独立宣言が出された。</p> <p>(2) イギリスでは清教徒革命のあと、再び王政が復活したが、議会は国王をオランダに追放し、新たな国王を迎えた。無血革命であったことから名誉革命とよばれる。</p> <p>(3) 産業革命はイギリスの綿工業から始まり、19世紀前半には、フランス・アメリカに広まった。</p>
<p>㊦ (1) 国学</p> <p>㊦ (2) 蘭学</p> <p>㊦ (3) 葛飾北斎</p> <p>㊦ (4) 化政文化</p>	<p>㊦ (1) 国学を大成したのは、伊勢松阪の医師でもある本居宣長で、古事記の注釈書である『古事記伝』などを著した。</p> <p>(2) 8代将軍徳川吉宗が、キリスト教に関係のない漢訳した洋書の輸入を認めたことから、蘭学が発達した。後に蘭学をふくめて洋学とよばれるようになる。</p> <p>(3) 多色刷りの浮世絵で錦絵とよばれる。葛飾北斎と同じく風景画の作者の歌川〔安藤〕広重は『東海道五十三次』で知られる。喜多川歌麿は美人画で知られている。与謝蕪村は文人画の作者であるとともに俳諧でも知られている。</p> <p>(4) 川柳・狂歌に代表される、皮肉やこっけいを喜ぶ町人文化である。</p>